

記入例（4月入学者）

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの

○
○
×

申請者 二 保護者 二 振込口座名義

父	二	父母	二	父の口座
母	二	父母	二	母の口座
父	二	父母	二	母の口座

様式1-1号(第5関係)

※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県私立高校生等奨学給付金受給申請書

4か所とも必ずチェック。

令和 8年 7月 1日

宮城県知事 殿

※ はじめに、次の4点を、口にし点を付記してください。【必須項目】

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(児童福祉法第119条第1項第2号の施設に収容された高校生等を除く)の支弁対象ではありません。
- 非課税ではなく**生業扶助受給**にチェック

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

フリガナ	ミヤギ タロウ	〒 980-8570
申請者氏名 (保護者等)	宮城 太郎	住所 仙台市青葉区本町1-1 電話番号 022-211-2264
高校生等との関係	☒ 親権者 ☐ 未成年後見人 ☐ 未成年後見人である里親 ☐ 主たる生計維持者 ☐ 生徒等	
申請区分	☐ 非課税 ☐ 低中所得 ☒ 生業扶助受給 ☐ 家計急変	
生業扶助の受給に関する誓約	生業扶助を受給していない場合は、内容を確認の上、□にレ点を付記してください。 ☐ 私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。	
扶養に関する誓約	高校生等と扶養関係にある場合は、内容を確認の上、□にレ点を付記してください。 ☒ 私(扶養者)と高校生等(被扶養者)は、令和8年7月1日現在、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。	
家計急変の状況	年収見込 家計急変発生の日 家計急変理由	続柄 家計急変前 円 円 令和 年 月 日

生業扶助を受給しているの
で、**チェック**はしない。

高校生等と扶養関係である場合は、
必ずチェック。

【対象となる高校生等】

フリガナ	ミヤギ ジロウ	生年月日	学校 記入欄	当該生徒は高等学校等就学支援金等の受給資格者であることを確認しました。 (学校担当者が確認印を押印する。)	
氏 名	宮城 二郎	2009年4月2日			
在学学校名	宮城県庁高等学校 ※県外の学校に在学している場合は、在学証明書を添付してください。	在学期間	令和 8年 4月 1日 ～ 基準日		
学校の種類等	通信制以外 ・ 通信制	学年・コース等	1学年 普通科		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	在学期間	年 月 日 ～ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外 ・ 通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし ・ 回 ・ 不明	
	学校名	立	在学期間	年 月 日 ～ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外 ・ 通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし ・ 回 ・ 不明	

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の□にレ点を付記してください。)。】

次の者の課税証明書等を提出します	①	☒ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。
	②	☐ 親権者(両親)2名分
	③	☐ 親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
	④	☐ 未成年後見人()名分 ・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	⑤	☐ 生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
	⑥	☐ 主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
	⑦	☐ 生徒本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外 ・ 通信制	生業扶助 非課税 低所得 家計急変	加算額	給付額	田	私学・公益法人課
			☐ 該当 ☐ 非該当			

非課税世帯

記入例（4月入学者）

申請者 = 保護者 = 振込口座名義
父 = 父母 = 父の口座
母 = 父母 = 母の口座
父 = 父母 = 母の口座

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの

○
○
×

様式1-1号(第5関係)

※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県私立高校生等奨学給付金受給申請書

4か所とも必ずチェック。

令和 8年 7月 1日

宮城県知事 殿

※ はじめに、次の4点を必ず確認し、□にレ点を付記してください。【必須項目】

- ☒ この申請書の内容は、事実と相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っておりません。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

フリガナ	ミヤギ タロウ	〒 980-8570
申請者氏名 (保護者等)	宮城 太郎	住所 仙台市青葉区本庁3丁目 電話番号(022)211-2222
高校生等との関係	☒ 親権者 ☐ 未成年後見人 ☐ 未成年後見人である里親 ☐ 主たる生計維持者 ☐ 生徒等	
申請区分	☒ 非課税 ☐ 低所得 ☐ 生業扶助受給 ☐ 家計急変	
生業扶助の受給に関する誓約	☐ 私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。 必須項目	
扶養に関する誓約	☒ 高校生等と扶養関係にある場合は、内容を確認の上、□にレ点を付記してください。 私(扶養者)と高校生等(被扶養者)は、令和8年7月1日現在、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。 必須項目	
家計急変の状況	年収見込	続柄 家計急変前 円 家計急変後 円 扶養人数
※家計急変で申請する場合のみ	家計急変発生の日	令和 年 月 日
	家計急変理由	

生業扶助を受給していない場合は、必ずチェック。

高校生等と扶養関係である場合は、必ずチェック。

【対象となる高校生等】

フリガナ	ミヤギ ジロウ	生年月日	2009年4月2日	学校 記入欄	当該生徒は高等学校等就学支援金等の受給資格者であることを確認しました。 (学校担当者が確認印を押印する。)
氏 名	宮城 二郎				
在学学校名	宮城県庁高等学校	在学期間	令和 8年 4月 1日 ~ 基準日		
学校の種類等	通信制以外・通信制	学年・コース等	1学年 普通科		
過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明	
	学校名	立	在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
	学校の種類等	通信制以外・通信制	在学中に給付金を受給した回数	なし・回・不明	

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の□にレ点を付記してください。)。】

次の者の課税証明書を提出します	①	☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。
	②	☒ 親権者(両親)2名分
	③	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等
	④	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	⑤	生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
	⑥	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
	⑦	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外・通信制	生業扶助 非課税 低所得 家計急変	加算額 ☐ 該当 ☐ 非該当	給付額 円	私学・公益法人課
-----	-----------	----------------------------	--	----------	----------

家計急変世帯

記入例（4月入学者）

原則として
振込口座は
申請者名義
のもの○
○
×申請者 = 保護者 = 振込口座名義
父 = 父母 = 父の口座
母 = 父母 = 母の口座
父 = 父母 = 母の口座

様式1-1号(第5関係)

※黒又は青のインク・ボールペンで記入すること(鉛筆・フリクションは不可)

宮城県私立高校生等奨学給付金受給申請書

4か所とも必ずチェック。

令和 8年 7月 1日

宮城県知事 殿

※ はじめに、次の4点を必ず確認し、□にレ点を付記してください。【必須項目】

- ☒ この申請書の内容は、事実と相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、宮城県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は宮城県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。

【宮城県私立高校生等奨学給付金の受給を申請します。】

非課税ではなく家計急変にチェック

フリガナ	ミヤギ タロウ	〒 980-8570
申請者氏名 (保護者等)	宮城 太郎	住所 仙台市青葉区本町 1 電話番号(022) 2264
高校生等との関係	☒ 親権者 ☐ 未成年後見人 ☐ 未成年後見人である里親 ☐ 主たる生計維持者 ☐ 生徒本人 ☐	
申請区分	☐ 非課税 ☐ 低所得 ☐ 生業扶助受給 ☒ 家計急変	
生業扶助の受給に関する誓約	生業扶助を受給していない場合は、内容を確認の上、□にレ点を付記してください。 ☒ 私の世帯は、認定基準日において、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。	必須項目
扶養に関する誓約	高校生等と扶養関係にある場合は、内容を確認の上、□にレ点を付記してください。 ☒ 私(扶養者)と高校生等(被扶養者)は、令和8年7月1日現在、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。	必須項目
家計急変の状況	年収見込 続柄 父 6,000,000円 母 0円	家計急変後 1,200,000円 0円
※家計急変で申請する場合のみ	家計急変発生の日 令和8年5月31日	扶養人数 2人 0人
	家計急変理由 勤務先都合による整理解雇	

生業扶助を受給していない場合は、必ずチェック。

【対象となる高校生等】

フリガナ	ミヤギ ジロウ	生年月日	2009年4月2日
氏 名	宮城 二郎	記入欄(学校関係)	
在学学校名	宮城県庁高等学校	在学期間	令和 8年 4月 1日 ~ 基準日
学校の種類等	通信制以外・通信制	学年・コース等	1学年 普通科
過去の高等学校等における在学期間	学校名 立 学校の種類等 通信制以外・通信制	在学期間 在学中に給付金を受給した回数 なし・回・不明	年 月 日 ~ 年 月 日
	学校名 立 学校の種類等 通信制以外・通信制	在学期間 在学中に給付金を受給した回数 なし・回・不明	年 月 日 ~ 年 月 日

高校生等と扶養関係である場合は、必ずチェック。

【保護者等の収入状況(いずれか1か所の□にレ点を付記してください。)。】

次の者の課税証明書を提出します	①	☐ 生業扶助(高等学校等就学費)を受給していることが分かる証明書を提出します。
	②	☒ 親権者(両親)2名分
	③	親権者1名分(親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ・離婚、死別等により親権者が1名の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書を提出できない場合 等
	④	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。
	⑤	生徒の生計をその収入により維持しているもの(主たる生計維持者)(両親等)2名分 ※生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
	⑥	主たる生計維持者1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
	⑦	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

審査欄	通信制以外・通信制	生業扶助 非課税 低所得 家計急変	加算額 ☐ 該当 ☐ 非該当	給付額 円	私学・公益法人課
-----	-----------	----------------------------	--	----------	----------

外国人学校以外

記入例

様式第1ー2号

外国人等

高等学校等就学支援金等の申請を行っている方はこちらにチェックを入れることで下記【3】の確認書類(住民票の写し等)の添付が省略できます。

【1】高等学校等就学支援金等の支給申請等の状況について

(高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ点を付します。)

☐ 私は、高等学校等就学支援金等の受給資格者です。☒ 高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため上記の支給申請状況等を県が参照することに同意します。

※高等学校等就学支援金等に含まれる事業

ア 高等学校等就学支援金、イ 高等学校等修学支援事業費補助金(高校生等・新修学支援)、

ウ 高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)

【2】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について

(次のいずれかの該当する□にレ点付記してください。)

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

① ☐ 日本国② ☐ 日本国以外

(上記(1)で「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ点を付記してください。)

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③ ☐ 特別永住者④ ☐ 永住者⑤ ☐ 日本人の配偶者等

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

⑥ ☐ 永住者の配偶者等⑦ ☐ 定住者

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

日本国に永住する
意思の有無☐ はい(あり)☐ いいえ(なし)⑧ ☐ 家族滞在

在留期間(満了日)

(西歴)

年

月

日

日本国の小学校
の卒業の有無等☐ 卒業した☐ 卒業していない

小学校名

所在地

都・道・府・県

日本国の中学校
の卒業の有無等☐ 卒業した☐ 卒業していない

中学校名

所在地

日本国で就労する
意思の有無☐ はい(あり)⑨ ☐ 上記以外の在留資格
(留学等)

在留期間(満了日)

(西歴)

外国籍の場合は
該当する項目に必ずチェック。

⑤～⑨の場合は在留期間等を
記入してください。

国籍に関係なく
該当する項目に必ずチェック。

※宮城県高等学校等就学支援金等を受給
している場合は①～③の書類は提出を
省略することができます。

【3】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

(生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの□にレ点を付します。)

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

① ☐ 「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。

※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。

② ☐ 「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。③ ☐ 「在留カードの写し(コピー)」を添付します。④ ☐ 宮城県高等学校等就学支援金等を申請しているため、①～③のいずれの書類も添付しません。
【注】宮城県以外へ就学支援金等を申請している場合は、①～③の書類の添付を省略できません。

④にチェックを入れ、確認書類の添付を
省略する方は、上記【1】にも必ずチェック
を入れてください。
なお、申請状況等によっては、後日確認
書類の提出を求めることがあります。

(在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤⑥の□にレ点を付記してください。)

・ 2(2)⑧で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」にレ点を付けた

・ 2(2)⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ点を付けた

⑤ ☐ 「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。⑥ ☐ 「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)又は卒業証明書」を添付します。

在留資格が「家族滞在」の場合は、
⑤、⑥どちらにも該当する

外国人学校

記入例

様式第1ー2号

外国人学校

【1】高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）等の申請等の状況について
（高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ点を付記してください。）

- ☐ 私は、高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）等の受給資格者です。
- ☒ 高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため上記の支給申請状況等を県が参照することに同意します。

※高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）等に含まれる事業
ア 高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）
イ 高等学校等修学支援事業費補助金（学び直しへの支援）

該当する項目に必ずチェック。

【2】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等について
（次のいずれかの該当する□にレ点を付記してください。）

（1）高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

- ① ☐ 日本国
- ② ☐ 日本国以外

外国籍の場合は
該当する項目に必ずチェック。
⑤～⑨の場合は在留期間を
記入してください。

（上記（1）で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ点を付記してください。）

（2）高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

- ③ ☐ 特別永住者
- ④ ☐ 永住者
- ⑤ ☐ 日本人の配偶者等
- ⑥ ☐ 永住者の配偶者等
- ⑦ ☐ 定住者
- ⑧ ☐ 家族滞在
- ⑨ ☐ 上記以外の在留資格（留学等）
- 在留期間（満了日）
- （西歴） 年 月 日

様式1ー2（その1）

【3】高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について
（高校生等の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの□にレ点を付記してください。）

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

- ① ☐ 「住民票の写し（市町村の発行したもの。原本。コピー不可。）」を添付します。
※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
- ② ☐ 「特別永住者証明書の写し（コピー）」を添付します。
- ③ ☐ 「在留カードの写し（コピー）」を添付します。
- ④ ☐ 宮城県高等学校等修学支援事業費補助金（高校生等・新修学支援）等を申請しているため、①～③のいずれの書類も添付しません。
【注】宮城県以外へ就学支援金等を申請している場合は、①～③の書類の添付を省略できません。

該当する項目に必ずチェック。